

令和5年度

(2023年度)

# 教育実施計画書

(カリキュラム・ポリシー)

中央工学校

建築室内設計科

# 目 次

I. 教 育 目 的	1
II. 指 導 目 標	1
III. 指 導 要 領	1
IV. 成 績 評 估 方 法 · 基 準	2
V. 教 科 構 成 表	3
VI. 教 科 別 教 育 實 施 計 畫 書	5
VII. 教 科 別 教 科 書 一 覽	37
VIII. 教 具 教 材 一 覽	38

## I. 教育目的

建築室内設計科における教育は、修学年限 2 年の学習指導の過程を通して、学生各自が卒業後、建築・インテリア業界の分野において専門技術者として活躍できるよう、必要な建築・インテリアに関する知識、技術を教授し、人間涵養教育を通じて豊かな社会性を有する技術者を養成することを目的とする。具体的には実習教科目である設計製図を軸として、これに関連する計画、構造、施工、インテリア等の体系的な専門知識及び技術を習得させる。指導に当たっては、理論的根拠の裏付けを基に、建築技術の実務性を重視した「実践的技術者の養成」を学習指導における基本とする。

## II. 指導目標

1. 実習教科目である設計製図を軸として建築・インテリアに関する専門技術を習得し、店舗、住宅の設計・施工、リフォーム等に対応する実践的技術者を育成する。
2. 卒業後すぐに役立つ技術者の養成を目標とするが、「すぐに役立つ」とは単に知識の集積と直截性を意味するだけではなく、的確な状況判断と社会の技術進展に適応できる思考性、応用性が含まれている事に十分留意する。
3. 設計製図の授業を核として関連授業の内容を理解し、木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造の設計手法を学び、住宅設計・店舗設計・公共施設設計の設計技術を身に付ける。
4. 設計における手描きの作図技術と、各種 CAD・CG の操作方法を理解し、実社会において即戦力となる技術を習得する。
5. 学習要項で推奨する以下の各種資格を在学中に取得することで、建築技術者としてのスキルを身に付ける。

推奨資格	目標合格率・取得率
ビジネス能力検定 B 検 3 級	90%
2 級 リビングスタイリスト	70%
パース検定 2 級	70%
色彩能力検定 3 級	70%

## III. 指導要領

建築室内設計科は以下のような方針の基に教育指導に当たる。

1. 建築室内設計に関する基本的で、しかも実務的な基礎能力の習熟に重点をおき、建築に関する専門の科目を習得させ、これを基礎としたインテリアデザイン教育を行う。
2. 工業技術の高度化と共に、各種業務の遂行は個人から複数による共同分担への傾向が顕著である。これに伴い、これからの技術者は集団の秩序と規律のもとに自己を主張しつつ、協調して業務に従事することのできる人間性を有することも、技術的能力の一つとして評価されることを充分認識した上で、日常の指導に反映させる。また、企業と連携した教育を行うことで、職業に対して実践的な授業を実施する。
3. 各科目の担当者は、本学の学生が卒業後に建築士・建築施工管理技術士等の資格を取得できるように基本的な技術能力と応用力の育成に努める。また、設計製図の担当者は、基本的な設計の手法技法を教え、建築室内設計科全体の教科構成に留意し、常に他の科目との密接な相互関連を保つよう配慮し指導する。
4. 写図課題を通して、主に製図の基本である手描きを教える。また、設計課題を通して、社会では常識となる各種 CAD、CG 操作を教え指導する。
5. ビジネス能力検定 B 検 3 級、色彩能力検定 3 級は授業で、2 級リビングスタイリスト、パース検定 2 級は講習会で教え指導対応する。

#### IV. 成績評価方法・基準

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各科で定める一般科目や専門科目は定期試験（レポート課題含む）により成績評価を行っている。実習科目では出席率や課題内容を総合的に評価している。また、卒業設計や進級課題では、校長の承認を得て総合的に評価を行っている。100点満点における60点以上を合格とし、履修が認定される。各科目で出席率85%未満の生徒についてはその成績評価の対象としない。

## V. 教科構成表

### 建築室内設計科(昼間)

必修選択の別	教科区分	教 科 目	第1学年		第2学年		授 業 時 数 合 計	実務家教員 担 当 教 科
			前期	後期	前期	後期		
必修 科 目	一般科目	数 学	2				30	
		ビ ジ ネ ス マ ナ ー	1				15	
		合 宿 研 修	(36)		(36)		(72)	
	専 門 科 目	建 築 計 画	2				30	○
		環 境 工 学			2		30	○
		建 築 史	2				30	○
		建 築 設 備				2	30	○
		建 築 法 規	2	1			45	○
		構 造 力 学		2	2		60	○
		建 築 一 般 構 造	2	2			60	
		建 築 材 料	2				30	○
		建 築 施 工			1	2	45	○
		建 築 積 算				2	30	○
		イ ン テ リ ア 計 画	2	2			60	○
		照 明 計 画		3			45	○
		透 視 図	3	3			90	○
		C A D 製 図	3				45	○
	実 習 科 目	B I M 演 習		2			30	○
		家 具 計 画			2		30	○
		リノベーション演習			2		30	○
		建 築 設 計 製 図	9	9	12		450	○
		卒 業 制 作				12	180	○
		住 居 デ ザ イン		3			45	○
		イ ン テ リ ア コ ー デ ィ ネ ー ト		3	3		90	○
		シ ョ ッ プ デ ザ イン I (飲 食)			3	3	90	○
	実 習 科 目	シ ョ ッ プ デ ザ イン II (物 販)			3	3	90	○
		イ ン テ リ ア デ ザ イン				3	45	○
家 具 デ ザ イン					3	45	○	
内 装 施 工 管 理 実 習		(48)				(48)		
選択科目	研修科目	国 内 建 築 研 修	《36》		《36》		《36》	
		海 外 建 築 研 修	《72》		《72》		《72》	
	特別選択科目	施 工 管 理 実 習	《48》		《48》		《48》	
週 授 業 時 数			30	30	30	30	1800	
週 数			15	15	15	15	60	
年 間 (30週) 授 業 時 数			900		900		1800	

※ 《 》 は任意選択 ( ) は特別授業

一般科目	講義	数学	1 学年	前期
目的・目標 (指標)		目的：建築に必要不可欠な数学的素養を演習を通して理解する。 前期目標：工業技術者として電卓の基本操作が確実にでき、数学の記号の意味を学習し、建築に必要な計算方法と三角関数の基礎を理解する。		
指 導 内 容				
前 期 (2 時限)				
週	教程	教程内容		
1	数学素養試験	数学素養試験の実施および解説		
2	単位や大きさなどの基礎知識	量・長さ・広さの単位換算		
3	数式の基礎知識(1)	比と比例式		
4	数式の基礎知識(2)	文字式の計算、分数式、等式の変形		
5	数式の基礎知識(3)	平方根の計算		
6	数式の基礎知識(4)	式の展開、因数分解、二次方程式		
7	指数と対数(1)	指数の基本式と計算		
8	指数と対数(2)	対数の基本式と計算		
9	三角関数(1)	三角比、角度の単位		
10	三角関数(2)	三角形の面積		
11	三角関数(3)	正弦定理・余弦定理		
12	三角関数(4)	建築と三角関数(建物の高さ、屋根の面積、水平面照度)		
13	ベクトル(1)	ベクトルの性質、ベクトルの合成、ベクトルの作図		
14	ベクトル(2)	ベクトルの成分表示とベクトルの大きさ、分力、合力の計算		
15	平面角と立体角	平面角と弧度法、立体角		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

一般科目	講義	ビジネスマナー	1 学年	前期
目的・目標 (指標)		目的：新入社員としての基礎的社会常識を理解する。 前期目標：就職活動に向け、挨拶、言葉使い、電話の対応、文章の書き方に重点を置きながら、ジョブパス試験対策をする。		
指 導 内 容				
前 期 (2 時限)				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		授業目的、内容説明	
2	文章の書き方 -1		わかりやすい文章について	
3	話す/聞く(インテリア計画とリンク)		二人組みになって相手の要望をヒアリング	
4	コミュニケーションとマナー -1 敬語		敬語の基本	
5	コミュニケーションとマナー -2 電話		電話、携帯電話の対応とマナー	
6	コミュニケーションとマナー -3 メール		メールの対応とマナー	
7	コミュニケーションとマナー -4 ビジネス文書		ビジネス文章の基本	
8	ジョブパス過去問 -1		ビジネス能力検定試験対策(1)	
9	文章の書き方 -2		道案内の文章	
10	ジョブパス過去問 -2		ビジネス能力検定試験対策(2)	
11	ジョブパス過去問 -3		ビジネス能力検定試験対策(3)	
12	ワード文書作成ワーク -1		案内状の作成(1)	
13	ワード文書作成ワーク -2		案内状の作成(2)	
14	挨拶状の書き方		葉書による礼状の書き方(出身高校訪問のお礼)	
15	スピーチ/プレゼンテーション		1分間で思いを伝える	
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	建築計画	1 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：設計製図との関連を踏まえて、建築を計画する基本的能力を養う。  前期目標：居住・学校教育・社会教育・医療福祉・商業施設の機能に即した計画の理論・手法を理解する。</p>		
実務家教員の実務経験		設計監理業を主たる業務とし、当該科目の知識が豊富で優れた指導力を有している。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	建築と社会のつながり、計画に必要な知識の修得	施主、施工者、設計者の社会的立場、設計者の仕事、建築計画の意義		
2	敷地と計画	気候風土と建築計画、敷地と計画、場所とデザイン		
3	住宅	住まいの変遷、地と図の関係、様々な住宅、各室の計画		
4	集合住宅	集合住宅の種類、スケルトンインフィル		
5	細部計画	尺貫法、トイレの計画、各部位の高さ		
6	学校	学校建築の歴史、小学校の計画、オープンスクール		
7	幼稚園	幼稚園と保育園の違い、幼稚園の計画と安全性		
8	図書館	図書館の計画、BDS、閲覧室		
9	美術館	美術館の計画、動線、様々な美術館		
10	公民館	複合施設の計画、高齢者施設		
11	医療高齢バリアフリー	バリアフリー法、ユニバーサルデザイン、病院の計画		
12	事務所	規模算定、コア形式の種類、レントブル比		
13	劇場 マーケット店舗	劇場の計画、劇場の種類、店舗計画の基本		
14	環境とデザイン 音熱色光(1)	日射と採光、ヒートアイランド現象、日射と意匠、光の単位		
15	音熱色光(2)	色の効果、コーレイトカー、換気の種類、シックハウス対策、ダブルスキンファサード		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				



専門科目	講義	環境工学	2 学年	前期
目的・目標 (指標)	<p>目的：建築と環境のかかわりを学習し、快適な建築環境を得るための方法を理解する。</p> <p>前期目標：室内空気汚染・換気・日照・日射・採光・照明・色彩・断熱・結露・体感温度・騒音・音響について理論的裏付けを含めて理解する。</p>			
実務家教員の実務経験	環境系分野の学問において卓越した学究の徒であり、学生指導上の秀でた教授法を有しており当該科目において最適の講師である。			
指 導 内 容				
前 期 (2 時限)				
週	教程	教程内容		
1	室内空気汚染と換気(1)	室内の汚染物質と燃焼器具による空気汚染・空気汚染の基準とシックハウス症候群		
2	室内空気汚染と換気(2)	自然換気と機械換気・換気量・全般換気と局所換気		
3	日照と日射(1)	日照の必要性と居住環境・太陽位置・日影曲線		
4	日照と日射(2)	日影図と日影規制・日射量と日射の遮蔽		
5	採光と照明(1)	側光量と照度基準・直射光と天空光・昼光率・昼光率の計算方法		
6	採光と照明(2)	照明と演色		
7	色彩	表色・色彩の感覚と色彩調節		
8	断熱と結露防止(1)	熱貫流量・熱貫流率		
9	断熱と結露防止(2)	断熱性能・外断熱と内断熱・湿度と空気線図・表面結露・外断熱		
10	断熱と結露防止(3)	内断熱と表面結露・表面結露の防止方法・内部結露		
11	体感温度(1)	温熱環境指標の概念・有効温度と修正有効温度		
12	体感温度(2)	PMV と新有効温度・局所不快感		
13	騒音防止と音響設計(1)	音の伝わり方と強さ・騒音の表示方法・距離による騒音防止		
14	騒音防止と音響設計(2)	透過損失と床衝撃音・遮音性能の基準・吸音による騒音防止		
15	騒音防止と音響設計(3)	空間の形状・残響と反響		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	建 築 史	1 学 年	前 期
目的・目標（指標）	目 的：建築の歴史的発展過程を理解し、建築界の将来を展望できる能力を習得する。 前期目標：日本・西洋・近代・現代における建築歴史を理解する。			
実務家教員の実務経験	設計監理業を主たる業務とし、当該科目の知識が豊富で優れた指導力を有している。			
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	概論	建築史概論		
2	日本建築史(1)	古代～中世 都城と宮殿、寝殿造と室礼		
3	日本建築史(2)	古代～近世 寺院と神社		
4	日本建築史(3)	中世～近世 武家文化、寝殿造から書院造へ		
5	日本建築史(4)	中世～近世 城郭、民家、茶室、数寄屋		
6	西洋建築史(1)	古代 オリエント、エジプト、ギリシャ、ローマ		
7	西洋建築史(2)	中世 キリスト教初期建築、ビザンティン、イスラム		
8	西洋建築史(3)	中世 ロマネスク、ゴシック		
9	西洋建築史(4)	近世 ルネサンス、バロック、リヴァイヴァル		
10	近代建築史(1)	産業革命と初期近代建築、アーツアンドクラフツ運動		
11	近代建築史(2)	アール・ヌーヴォー、アール・デコ		
12	近代建築史(3)	近代建築運動、近代建築の巨匠		
13	近代建築史(4)	日本の居留地洋風建築とお雇い外国人、擬洋風建築		
14	近代建築史(5)	近代の日本人建築家、様式主義、戦後の建築、ポストモダン		
15	現代建築	現代の建築		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	建築設備	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：高度化する建築設備に対応し、設備の基礎を中心に学ぶ。また、実例図集を使用し、設備計画を行う事により、合理的・効果的な設備計画に対する能力を習得し、建築設計に活かすことが出来るようになる。</p> <p>後期目標：給排水衛生設備・空気調和換気設備・電気設備について理解する。</p>		
実務家教員の実務経験	建築設計を中心とした業務に携わり、環境共生において幅広い知識を持ち備えている。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	建築設備概要	建築設備の役割		
2	環境と設備	地球環境と建築設備・設備計画		
3	給水設備	給水設備の概要・給水システム・上水の汚染と防止		
4	給湯設備	給湯設備の概要・給湯方式		
5	排水通気設備	排水・通気設備の役割・トラップと間接排水		
6	排水処理設備	排水処理設備の役割・浄化槽		
7	ガス設備	ガスの種類と供給方式・機器と給排気		
8	衛生器具設備	衛生器具設備の概要、設置計画		
9	消火設備	消火設備の基本事項・屋内消火栓・スプリンクラー消火設備		
10	空気調和設備(1)	空気調和と室内環境・空調負荷・空気調和方式の種類・特徴		
11	空気調和設備(2)	熱源・搬送設備・空気調和機・換気設備・自動制御設備		
12	電気設備(1)	電気設備の構成・関連法規・受変電設備・幹線設備・動力設備		
13	電気設備(2)	自家発電設備・照明設備・コンセント設備・情報通信設備		
14	防災設備	自動火災報知設備・防災照明設備・避雷設備		
15	搬送設備	エレベータ・エスカレータ設備		

専門科目	講義	建築法規	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)		<p>目的：建築基準法等の知識を習得し、設計・計画に活かすことが出来るようになる。</p> <p>前期目標：個々の建築物単位に適用する単体規定、敷地単位に適用する集団規定の容積率・建蔽率・高さ制限等を理解する。</p> <p>後期目標：集団規定の防火地域等、防火規定、避難規定、制度規定と関連法規について理解する。</p>		
実務家教員の実務経験		設計事務所を主宰運営し、設計監理業に加え、建築関連の執筆実績もあり、設計指導における豊富な知識と経験を有している。		
指 導 内 容				
前 期 (2 時限)				
週	教程		教程内容	
1	総則	用語の定義(1)	法の目的・法の体系と構成・建築物・特殊建築物・居室	
2		用語の定義(2)	主要構造部・延焼のおそれのある部分、耐火構造、他	
3		用語の定義(3)	不燃材料、耐火建築物・建築・敷地・地階・避難階、他	
4		面積・高さの算定(1)	敷地面積・建築面積・床面積・延べ面積、他	
5		面積・高さの算定(2)	建築物の高さ・軒の高さ・階数・地盤面、他	
6	集団規定	道路関係	道路の定義・接道基準・道路内の建築制限・壁面線、他	
7		用途地域	用途制限	
8		容積率	容積率	
9		建蔽率	建蔽率・外壁の後退距離、他	
10		高さ制限(1)	絶対高さ・道路高さ制限	
11		高さ制限(2)	隣地高さ制限・北側高さ制限・日影規制	
12	単体規定	一般構造(1)	居室の採光・地階における住宅等の居室	
13		一般構造(2)	居室の換気・居室の天井高・居室の床の高さ	
14		一般構造(3)	階段各部の寸法等・界壁の遮音・便所、他	
15		構造強度	木造(土台基礎・柱の小径・横架材・筋かい・壁量計算)、他	
後 期 (1 時限)				
週	教程		教程内容	
1	集団規定	防火地域	防火地域・準防火地域	
2	単体規定	防火規定(1)	耐火建築物等とすべき特殊建築物	
3		防火規定(2)	防火区画(1)	
4		防火規定(3)	防火区画(2)・界壁等の防火措置、他	
5		防火規定(5)	内装制限(1)	
6		防火規定(6)	内装制限(2)、他	
7		避難規定(1)	廊下の幅・直通階段の設置	
8		避難規定(2)	2以上の直通階段	
9		避難規定(3)	避難階段・特別避難階段	
10		避難規定(4)	排煙設備	
11		避難規定(5)	非常用の照明装置・非常用の進入口	
12	制度規定	確認制度	確認申請	
13		各種建築手続き	完了検査・中間検査・建築工事届、他	
14	関連法規	その他の法律(1)	建築士法	
15		その他の法律(2)	消防法・バリアフリー法、他	

専門科目	講義	構造力学	1 学年	後期
目的・目標 (指標)		<p>目的：建築物を安全に設計するために必要な構造の基礎知識について、演習を用いて理解する。</p> <p>後期目標：建築物に作用する外力や力のつり合いを理解し、静定構造物の反力・応力計算ができるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		<p>構造設計事務所を長年主宰運営され、構造関連科目に関する知識が豊富で、構造計算に関する高い教授力を持った講師である。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (2 時限)				
週	教程		教程内容	
1	構造力学概論		構造力学の目的・建築物との関連	
2	基本事項	荷重・支点と節点	荷重の種類・支点節点の種類・反力と反力数・その他	
3		構造物の判定	構造物の安定・不安定、静定・不静定	
4	力の釣り合い	力の合成・分解	図式解法・算式解法	
5	静定構造物	支点反力・応力	反力の求め方・応力の種類・釣り合い条件式	
6		反力(1)	片持ち梁の反力—集中荷重、分布荷重が作用した場合	
7		反力(2)	単純梁の反力—集中荷重が作用した場合	
8		反力(3)	単純梁の反力—分布荷重が作用した場合	
9		反力(4)	ラーメンの反力—集中荷重が作用した場合	
10		反力(5)	ラーメンの反力—分布荷重が作用した場合	
11		応力(1)	片持ち梁の応力—集中荷重、分布荷重が作用した場合	
12		応力(2)	単純梁の応力—集中荷重が作用した場合	
13		応力(3)	単純梁の応力—分布荷重が作用した場合	
14		応力(4)	ラーメンの応力—集中荷重が作用した場合	
15		応力(5)	ラーメンの応力—分布荷重が作用した場合	

専門科目	講義	構造力学	2 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目的：建築物を安全に設計するために必要な構造の基礎知識について、演習を用いて理解する。</p> <p>前期目標：静定ラーメンの応力、断面諸性能や応力度、座屈やたわみ、不静定構造物の応力が計算できるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験	構造設計事務所を長年主宰運営され、構造関連科目に関する知識が豊富で、構造計算に関する高い教授力を持った講師である。			
指 導 内 容				
前 期 (2 時限)				
週	教程	教程内容		
1	静定構造物	静定トラス(1)	トラスの種類・反力・応力の求め方	
2		静定トラス(2)	節点法による応力の求め方(1)	
3		静定トラス(3)	節点法による応力の求め方(2)	
4		静定トラス(4)	切断法による応力の求め方(1)	
5		静定トラス(5)	切断法による応力の求め方(2)	
6	断面性能	断面一次モーメント	断面一次モーメントによる図芯の求め方	
7		断面二次モーメント	断面二次モーメント求め方・公式	
8		断面係数	断面係数求め方・公式	
9	応力度と変形	応力度(1)	垂直応力度・せん断応力度・曲げ応力度	
10		応力度(2)	座屈長さ・座屈荷重	
11		ひずみ度	ひずみ度・ヤング係数	
12	不静定構造物	概論	不静定構造物概論	
13		たわみ角法(1)	たわみ角法の基本、節点方程式・層方程式	
14		固定モーメント法(1)	固定モーメント法の基本・剛度と分割率	
15		固定モーメント法(2)	分割モーメントと到達モーメント・実用計算法	
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	建築一般構造	1学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目的：建築物で採用される代表的な構造形式について、演習を通して理解する。</p> <p>前期目標：木構造の構造概要や特徴を理解し、在来軸組工法における床組や架構の計画ができるようになる。</p> <p>後期目標：鉄骨造や鉄筋コンクリート造の構造概要や特徴を理解し、建物の用途や規模に応じて、適切な構造形式や架構方式が決定できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	建築一般構造総論		構造概要、構造形式、構造計画、在来構法・枠組壁工法	
2	木構造の木材		木材の性質、長所と短所、比重と強度、木質材料	
3	木構造の基礎		基礎の種類、根切、地業、床下換気口、アンカーボルト	
4	木構造の軸組(1)		軸組部材名称、土台、柱と種類	
5	木構造の軸組(2)		桁、胴差、筋かいの種類	
6	木構造の軸組(3)		梁、火打材、壁の種類、補強方法	
7	木構造の軸組(4)		各種接合部納まり、耐力壁の配置、間柱、貫	
8	木構造の床組(1)		1階床組、床組の構成	
9	木構造の床組(2)		2階床組、床組の構成	
10	木構造の床組(3)		床伏図の演習	
11	木構造の小屋組(1)		小屋組の種類、和小屋と洋小屋、屋根構成部材	
12	木構造の小屋組(2)		切妻屋根、寄棟屋根、入母屋屋根の構成	
13	木構造の小屋組(3)		小屋伏図の演習	
14	木構造の階段		階段の種類、各種寸法、設計手法	
15	木構造の造作		和室の造作、天井、壁、床(床の間)の納まり、建具	
後 期（2時限）				
週	教程		教程内容	
1	鉄骨造の鋼材		鋼材の特徴、許容応力度、鋼材の形状	
2	鉄骨造の基礎		鉄骨造の特徴、長所と短所、構造形式	
3	鉄骨造の構造(1)		各種接合方法、ボルト接合、ボルトの配置	
4	鉄骨造の構造(2)		溶接接合、突合せ溶接、隅肉溶接	
5	鉄骨造の構造(3)		溶接接合の欠陥、座屈長さ、局部座屈、たわみ	
6	鉄骨造の構造(4)		柱と梁の種類、柱と梁の接手と仕口	
7	鉄骨造の構造(5)		筋かい(ブレース)、柱脚の種類、床板、階段、耐火被覆	
8	鉄筋コンクリート造の材料		コンクリートと鉄筋の特徴、構造特性、圧縮と引張強度	
9	鉄筋コンクリート造の基礎		鉄筋コンクリート造の特徴、構造計画、柱の配置計画	
10	鉄筋コンクリート造の構造(1)		鉄筋の配筋計画、フック、定着、接手、かぶり厚さ	
11	鉄筋コンクリート造の構造(2)		梁の構造と配筋、せん断補強筋、釣り合い鉄筋比	
12	鉄筋コンクリート造の構造(3)		柱の構造と配筋、せん断補強筋、鉄筋間隔	
13	鉄筋コンクリート造の構造(4)		柱梁接合部配筋、スラブ配筋、耐力壁配筋、階段配筋	
14	鉄筋コンクリート造の構造(5)		壁式鉄筋コンクリート造	
15	その他の構造		鉄骨鉄筋コンクリート造、補強コンクリートブロック造 他	

専門科目	講義	建築材料	1 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目的：木材・鋼材・コンクリートなど建物の構造材に使用される材料を中心に、仕上げ材・断熱材・防水材など各種建築材料の特性や使用方法を理解する。</p> <p>前期目標：建物の部位と使用されている建築材料の関係を把握し、設計における仕上げの選定及びディテールの検討ができるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		建築設計業を主たる業務とし、特に住宅設計施工業務の豊富な実績を有している。		
指 導 内 容				
前 期 (2 時限)				
週	教程	教程内容		
1	築材料の概要	建築材料の歴史・規格・環境		
2	木材(1)	木材の種類・特徴・樹木の種類、製材、種類、性質		
3	木材(2)	木材の強度・構造・規格・エンジニアリングウッド		
4	コンクリート(1)	セメント・骨材・水		
5	コンクリート(2)	混和材料・コンクリートの性質・コンクリートの調合設計・種類・製品		
6	鋼材(1)	鋼材の工程・特徴・種類		
7	鋼材(2)	鋼材の性質・腐食と防食・非鉄金属		
8	焼成品	タイルの種類・特徴		
9	ガラスと石	ガラスの歴史・特徴・種類・石の特徴・分類		
10	左官材料	左官の定義・特徴・種類		
11	塗料	塗料の種類、特徴		
12	部位別・性能別材料(1)	床・壁・天井材料		
13	部位別・性能別材料(2)	防水・防火・耐火材料、断熱・防音・吸音材料		
14	部位別・性能別材料(3)	インテリアエレメント(カーテン、カーペット等)		
15	まとめ			
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				



専門科目	講義	建築施工	2 学年	前・後期
目的・目標 (指標)	<p>目的：建築物を構築する各工事の実例を中心に、施工手順や施工法等を理解する。  前期目標：内装工事を中心に建築物を構築するための必要な基礎知識を理解できるようになる。  後期目標：建築現場における各種工事を中心に、建築現場技術者としての基礎ができるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>内装施工監理業を主たる業務とし、建築施工における豊富な知識と経験を有している。</p>			
<b>専門科目</b>				
前 期 (1 時限)				
週	教程	教程内容		
1	概要	自己紹介・施工知識の必要性		
2	木造建築(1)	在来工法とツーバイフォー工法の比較(1)		
3	木造建築(2)	木造の外装・サッシと内装の施工方法		
4	内部・内装工事(1)	内装工事の工程全般		
5	内部・内装工事(2)	壁・天井の納まり、仕上げ材		
6	内部・内装工事(3)	床の作り方・バリアフリー		
7	内部・内装工事(4)	左官、タイル(1)		
8	内部・内装工事(5)	その他内部雑工事		
9	内部・内装工事(6)	塗装、吹き付け		
10	内部・内装工事(7)	断熱工事		
11	内部・内装工事(8)	ユニット工事		
12	鋼製建具工事	アルミ建具の種類と躯体との納まり		
13	ガラス工事	ガラスの種類と特徴		
14	木製建具工事	内部建具の種類と納まり		
15	まとめ			
後 期 (2 時限)				
週	教程	教程内容		
1	コンクリート工事(1)	RC 造の全般・ラーメン構造と壁構造の使い分け		
2	コンクリート工事(2)	鉄筋工事		
3	コンクリート工事(3)	型枠工事、コンクリート工事		
4	防水工事(1)	防水工事全般、ディテールのポイントと作図		
5	鉄骨工事(1)	RC 造と鉄骨工事の違い、鉄骨工事の特徴		
6	鉄骨工事(2)	基礎・柱・梁・床工事・耐火被覆		
7	外壁工事	種類と納まり		
8	電気設備(1)	電気工事の概要		
9	給排水設備(1)	給排水設備の概要、排水勾配		
10	着工と請負契約	着工準備、請負契約の手続き		
11	工事全体の概要	ビデオ・写真による説明		
12	施工計画・準備工事	施工計画、工程計画、着工前準備全般		
13	仮設計画・工程表	仮設工事全般・工程表の説明		
14	安全・品質	品質管理		
15	まとめ			

専門科目	講義	建築積算	2学年	後期
目的・目標（指標）	<p>目的：建築施工と関連付けながら積算全般の概念や建設業における積算業務の役割を把握し、各工事の必要な数量を実際に拾えるようになる。</p> <p>後期目標：建築数量積算の基本である、数量拾いの計算ルールを理解したうえで、RC造の数量を拾えるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>建築生産の分野に長く携われ、業界の動向に加え当該分野の学問的知識も深く、的確な指導力を持った講師である。</p>			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（2時限）				
週	教程	教程内容		
1	各種内訳書、躯体の定義と区分	躯体とは何か、躯体の区分・各部分の計測、計算の通則		
2	鉄筋工事(1)	鉄筋の拾い(1)		
3	鉄筋工事(2)	鉄筋の拾い(2)		
4	鉄筋工事(3)	鉄筋の拾い(3)		
5	型枠・コンクリート工事(1)	型枠の計算(1)		
6	型枠・コンクリート工事(2)	型枠の計算(2)		
7	型枠・コンクリート工事(3)	コンクリートの計算(1)		
8	型枠・コンクリート工事(4)	コンクリートの計算(2)		
9	地業	基礎工事、土留め工事		
10	型枠・コンクリート・鉄筋計測計算(1)	コンクリート計算の演習(1)		
11	型枠・コンクリート・鉄筋計測計算(2)	コンクリート計算の演習(2)		
12	型枠・コンクリート・鉄筋計測計算(3)	コンクリート計算の演習(3)		
13	仕上計測計算(1)	外部仕上の計測 計算(1)		
14	仕上計測計算(2)	外部仕上の計測 計算(2)		
15	まとめ	まとめ		

専門科目	講義	インテリア計画	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）	<p>目的：インテリアを計画する上で必要な基礎知識、並びに空間の構成要素を理解する。</p> <p>前期目標：住まい各室の特性と設計手法を学び、設計製図に役立たせる。</p> <p>後期目標：店舗計画の基本知識と設計手法を理解し、形態・デザインを提案することにより設計製図に役立たせる。</p>			
実務家教員の実務経験	建設業を主たる業務とし、当該科目の知識が豊富で優れた指導力を有している。			
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	インテリアとは	インテリアの要素、インテリアプランニング		
2	エレメント(1)スケール	人間の動作空間と寸法		
3	(2)床	床の機能、素材		
4	(3)壁	壁の機能、素材		
5	(4)天井	天井の形体、効果、素材		
6	(5)窓・建具	窓の種類、開閉方式、建具の種類・デザイン		
7	(6)家具・収納・照明	家具の種類と機能・素材、収納スペース、照明の種類		
8	色彩の基本と演習(1)	色彩の基礎、色彩検定対策、過去問模試と解説		
9	住まいのインテリア(1)LDK	機能、演出法、実例(1)		
10	住まいのインテリア(2)サニタリー・玄関他	実例(2)		
11	住まいのインテリア(3)寝室・書斎	実例(3)		
12	住まいのインテリア(5)子供室	実例(4)		
13	住まいのインテリア(6)テラス・バルコニー	実例(5)		
14	インテリア演習課題(1)	エスキス、ゾーニング、動線計画、平面プラン、スケッチパース		
15	まとめ			
後 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	店舗とは	業態分類		
2	飲食店 平面計画・照明計画	(1)アプローチの演出、動線計画、照明計画		
3	厨房計画・インテリア計画	(2)調理器具のレイアウト、カウンター、家具		
4	エレメントとカラースキーム	(3)仕上げ材の選択とコーディネート		
5	設計演習(1)	エスキス(1)		
6	設計演習(2)	ドローイング(1)		
7	設計演習(3)	ドローイング(2)		
8	プレゼンテーション	作品発表会		
9	物品販売店 平面計画・照明計画	(1)アプローチの演出、ファサード、動線計画、照明計画		
10	什器とディスプレイ	(2)商品陳列台の種類とデザイン、家具について		
11	設計演習(1)	エスキス(1)		
12	設計演習(2)	ドローイング(1)		
13	設計演習(3)	ドローイング(2)		
14	プレゼンテーション	作品発表会		
15	まとめ			

専門科目	演習	照明計画	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：インテリアデザイン業務の中で重要な照明の基本的知識を理解する。 後期目標：設計製図課題のカフェの設計において、課題の進行に合わせて照明におけるコンセプトから計画、器具の選定、配置、表現までの照明計画が行えるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		<p>照明デザイナーとしての業務を主とし、特に住宅の照明設計業務の実績を有している。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	照明デザイン概論(1)	「照明計画」レポート作成、映像資料、照明基礎用語の解説		
2	照明デザイン概論(2)	光源の種類・特徴、照明器具の種類(概要)		
3	照明デザイン概論(3)	学内ランブルーム見学、基礎用語		
4	照明デザイン概論(4)	照明器具の解説(各種)、光のイメージ図		
5	照明メーカー見学会	照明メーカーのショールームを見学		
6	住宅の照明(1)	住空間の照明計画の考え方・ポイントの書き出し		
7	住宅の照明(2)	器具リスト・シンボルの説明、光のイメージ図作成		
8	住宅の照明(3)	照明配灯図、器具リスト作成、住宅照明のプレゼンテーション		
9	照度計算	照度計算、学内照度測定、まとめ報告		
10	設計製図 カフェ照明計画課題 実習(1)	質疑とプランの決定、コンセプト作成		
11	設計製図 カフェ照明計画課題 実習(2)	天伏図・照明配灯図作成		
12	設計製図 カフェ照明計画課題 実習(3)	展開図作成、器具リスト作成		
13	設計製図 カフェ照明計画課題 実習(4)	光のイメージ図作成		
14	設計製図 カフェ照明計画課題 実習(5)	プレゼンボード作成		
15	設計製図 カフェ照明計画課題 実習(6)	プレゼンボード提出		

専門科目	演習	CAD製図	1 学年	前期
目的・目標（指標）	<p>目的：製図及びデザイン支援の道具として実務で活用できるスキルを身に付けさせる。</p> <p>前期目標：CADの基本操作を身に付け、必要とされる技術が習得でき、課題への応用ができるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>当該分野の演習関連項目に造詣が深く、課題指導においても、適切な授業運営を行える教授法を持った講師である。</p>			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス・CAD製図の概要	ソフトのインストール、PCの機能/基本操作の概要		
2	基本動作確認 入学後の感想ワードで作成	ソフトのインストール、ワードにて入学後の感想作成		
3	CADの基本操作（1）簡単な基本操作説明	Vectorworksの環境を整える		
4	CADの基本操作（2）各種壁構造作成（1）	S:1/20の壁構造を描く		
5	CADの基本操作（3）各種壁構造作成（2）	S:1/50、1/100の壁構造を描く・寸法、文字の設定と記入		
6	CADによる作図課題 木造2階建て住宅平面図(1)	図面の設定		
7	CADによる作図課題 木造2階建て住宅平面図(2)	窓、ドア、家具、寸法、室名、方位などを描く		
8	CADによる作図課題 木造2階建て住宅平面図(3)	断面図の作図		
9	CADによる作図課題 プレゼンボード作成	プレゼンボード作成、図面・写真の取り込み		
10	ワード、エクセルの練習	エクセルの表作成、ワードへの取り込み		
11	CADによる作図課題木造2階建て住宅平面詳細作成(1)	図面の設定、床・壁・窓・ドアなどの作成		
12	CADによる作図課題木造2階建て住宅平面詳細作成(2)	家具・階段などの作成		
13	鉄骨造平面詳細図部分作成(1)	図面の設定、柱・壁を描く		
14	鉄骨造平面詳細図部分作成(2)	窓・ドアの建具を描く		
15	鉄骨造平面詳細図部分作成(3)	家具類、寸法、文字を描く		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	演習	コンピュータグラフィックス	1 学年	後期
目的・目標（指標）	<p>目的：建築業界において必要とされる様々なデジタルビジネスソリューションを理解する。BIM の理解により設計課題のデジタル的設計手法の拡充ができるようになる。</p> <p>後期目標：BIM 操作の基本を理解し、設計課題に役立てることができるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	設計監理業を主たる業務とし、特に住宅、クリニック、店舗等、設計業務の豊富な実績を有している。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス、BIM リテラシー	BIM の基礎、BIM リテラシー		
2	BIM 概論	初期動作確認、概要		
3	BIM の基本操作(1)	基本操作及び演習(1)		
4	BIM の基本操作(2)	基本操作及び演習(2)		
5	BIM の基本操作(3)	基本操作及び演習(3)		
6	BIM の基本操作(4)	基本操作及び演習(4)		
7	BIM の基本操作(5)	基本操作及び演習(5)		
8	BIM の基本操作(6)	基本操作及び演習(6)		
9	BIM 課題演習 基礎(1)	建築モデルの構築(1)		
10	BIM 課題演習 基礎(2)	建築モデルの構築(2)		
11	BIM 課題演習 発展(1)	発展的建築モデルの構築(1)		
12	BIM 課題演習 発展(2)	発展的建築モデルの構築(1)		
13	設計課題作品演習(1)	設計課題作品の制作(1)		
14	設計課題作品演習(2)	設計課題作品の制作(2)		
15	設計課題作品演習(3)	設計課題作品の制作(3)		

専門科目	講義	家具計画	2 学年	前期
目的・目標（指標）	<p>目 的：家具の全般的知識とデザインに関わる内容を理解する。  前期目標：後期授業「家具デザイン」につなげ卒業制作での家具設計の基本ができるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	家具デザイン・製造・施工を主たる業務とし、住宅や店舗を中心に豊富な実績を有している。			
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	概要	ガイダンス、家具の分類と種類		
2	家具の歴史(1)	古代から中世の家具の推移		
3	家具の歴史(2)	中世から近代までの推移		
4	家具デザインプロセス	デザイナーズチェアの説明(コレクションルームの見学)		
5	デザインイメージと人間工学	人体骨格、人体動作範囲の説明		
6	家具の材料(1)	木製・鋼材の特性、加工方法と種類		
7	家具の材料(2)	プラスチックの特性、加工方法と種類		
8	家具の構造と名称	家具の基本構造と接合方法		
9	家具塗装	家具材料の塗装方法と種類		
10	家具金物	金物の種類と使用方法と用途		
11	安全基準と種類	PL 法、JIS、その他の安全基準の種類と用途		
12	演習(1)	家具の図学、製図の基礎、家具のスケッチについて		
13	演習(2)	正六面体の描き方、陰影表現、着彩		
14	演習(3)	椅子の描き方、箱物の描き方		
15	家具の構成部材	構成部材と種類について		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	演習	リノベーション演習	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：リノベーションならではの空間構成の魅力や面白さを体感し、今後の既存建築物の利活用の必要性を理解する。</p> <p>前期目標：リノベーションの基礎知識・設計手法を習得し、住宅のリノベーション設計提案及びプレゼンテーションができるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		<p>建築士事務所を主宰運営し、住宅を中心とした設計監理業に加え、設計指導における豊富な知識と経験を有している。</p>		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	概要		ガイダンス、導入 DVD 鑑賞・レポート作成	
2	リノベーションの基礎知識		言葉の定義、工事種別	
3	日本の住宅変遷(1)戦後～1990 年代		スクラップアンドビルド、新築至上主義の確立	
4	日本の住宅変遷(2)近代		フロー型からストック型社会への転換	
5	リノベーションの特徴		メリット・デメリット、構造別リノベーションの特徴	
6	リノベーション関連法規(1)		建築基準法における関連事項	
7	リノベーション関連法規(2)		既存不適格建築物、長期優良住宅、区分所有法	
8	リノベーション実例紹介(1)		設計手法① 既存を活かす・温熱環境の改善	
9	リノベーション実例紹介(2)		設計手法② 断熱処理について、収納・家具、設備	
10	演習課題(1)基本計画①		エスキス① 方向性の検討	
11	演習課題(2)基本計画②		エスキス② 平面計画、空間構成エレメント計画	
12	演習課題(3)作図作業①		作 図① 図面作成、パース作成	
13	演習課題(4)作図作業②		作 図② 図面作成、パース作成	
14	演習課題(5)発表準備		プレゼンテーションボード、データの作成	
15	作品発表会		プレゼンテーション	
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				



実習科目	実習	建築設計製図	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)	<p>目的：実習作品の制作を通して、建築の実務的技術内容との関わり方について理解する。</p> <p>前期目標：木構造(在来軸組構法)図面の基本的な表現方法を習得し、更に実習課題を通して、設計・計画の力を養いリフォーム課題が作成できるようになる。</p> <p>後期目標：鉄骨造 2 階建店舗課題を通し、実務上で頻繁に使われる鉄骨造に関する基礎知識と鉄骨図面の表現方法を習得し、設計できるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	建設業を中心として、特に建築設計の見識が深く、住宅や店舗の設計施工の経験が豊富である。			
指 導 内 容				
前 期 (9 時限)				
週	教程	教程内容		
1	製図の基本	道具の使い方、製図通則		
2	線の練習(1)	線の種類、縦線・横線・斜線の練習・各種製図記号の練習		
3	線の練習(2)	各種壁構造図・アイソメ図法		
4	自分の居場所(1)	採寸、プレゼンボード作成(1)		
5	自分の居場所(2)	プレゼンボード作成(2)		
6	木造住宅リフォーム設計(1)	子供室リフォームデザイン エスキス		
7	木造住宅リフォーム設計(2)	平面図・内観パース		
8	木造住宅リフォーム設計(3)	プレゼンボード作成		
9	木造住宅リフォーム模型制作(1)	模型制作(1)		
10	木造住宅リフォーム模型制作(2)	模型制作(2)		
11	木造住宅写図(1)	配置図・1 階平面図・2 階平面図(1)		
12	木造住宅写図(2)	配置図・1 階平面図・2 階平面図(2)		
13	木造住宅写図(3)	立面図・断面図・平面詳細図・天井伏図		
14	木造住宅写図(4)	展開図・矩計図		
15	総合提出	総合提出、作品講評		
後 期 (9 時限)				
週	教程	教程内容		
1	鉄骨造 2 階建店舗課題説明	鉄骨造 2 階建店舗 課題説明		
2	鉄骨造 2 階建店舗 作図(1)	配置・1 階平面図・立面図・断面図		
3	鉄骨造 2 階建店舗設計 エスキス(1)	鉄骨造 2 階建店舗設計 コンセプト・イメージデザイン		
4	エスキス(2)	配置計画・平面計画・断面計画		
5	エスキス(3)	ファサードデザイン・内装計画		
6	図面作成(1)	1・2 階平面図(1)		
7	図面作成(2)	1・2 階平面図(2)		
8	図面作成(3)	1・2 階平面図(3)		
9	図面作成(4)	ファサードデザイン・サインデザイン		
10	図面作成(5)	客席部分展開図・天井伏図		
11	図面作成(6)	コンセプト、設計概要、案内図		
12	模型制作(1)	模型制作(1)		
13	模型制作(2)	模型制作(2)		
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション		
15	総合提出	総合提出、作品講評		

実習科目	実習	建築設計製図	2 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目的：実習作品の制作を通して、製図の技能、計画・設計の考え方、要領、建築の実務的技術内容との関わり方等について理解する。</p> <p>前期目標：鉄筋コンクリート造の設計を習得する。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (12 時限)				
週	教程	教程内容		
1	RC 造複合ビル設計 概要	課題説明、コンセプトワーク		
2	形態計画(1)	形態計画演習(1)		
3	形態計画(2)	形態計画演習(2)		
4	形態計画(3)	形態計画演習(3)		
5	エスキス(1)	エスキス      ゾーニング、イメージスケッチ		
6	エスキス(2)	平面計画、立面計画、断面計画、店舗計画		
7	図面作成(1)	建築設計	平面計画	
8	図面作成(2)	立面計画、断面計画		
9	図面作成(3)	店舗計画(1)		
10	図面作成(4)	店舗計画(2)、主旨概要、外観・内観パース		
11	模型製作(1)	模型製作(1)		
12	模型製作(2)	模型製作(2)		
13	総合提出	まとめ、総合提出		
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション		
15	卒業制作 概要	課題説明、コンセプトワーク、エスキス、ゾーニング		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	卒業制作	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：過去の学習によって得た知識、技術等を「卒業制作」の作品制作を通してまとめ、表現することを習得する。</p> <p>後期目標：時代に反映し社会性・地域性を考慮した公共性の高い設計内容と表現技法を習得する。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（12 時限）				
週	教程		教程内容	
1	卒業制作 エスキス(1)		平面計画	
2	エスキス(2)		立面計画・断面計画	
3	作品制作(1)		建築設計	配置計画
4	作品制作(2)		平面計画(1)	
5	作品制作(3)		断面計画(1)	
6	作品制作(4)		立面図	
7	作品制作(5)		外観パース	
8	作品制作(6)		主旨概要	
9	作品制作(7)		図面着彩	平面図、立面図、断面図
10	作品制作(8)		主旨概要、外観パース	
11	模型製作(1)		外観または主要室インテリア模型製作 床面	
12	模型製作(2)		壁面	
13	模型製作(3)		家具(1)、写真撮影	
14	プレゼンテーション(1)		プレゼンテーション(1)	
15	プレゼンテーション(2)		プレゼンテーション(2)	

実習科目	演習	透 視 図	1 学 年	前・後期
目的・目標（指標）	<p>目 的：建築・インテリアパースの各種作図法と着色法を体得させ設計授業の課題作成ができるようになる。</p> <p>前期目標：手書きによる作図と着色を行う。また、スケッチの練習を通じてイメージを具現化できるようになる。</p> <p>後期目標：コンピュータソフトによる各種建築物の作図と着色を行うことができるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>当該分野の演習関連項目に造詣が深く、課題指導においても、適切な授業運営を行える教授法を持った講師である。</p>			
指 導 内 容				
前 期（3 時 限）				
週	教 程	教 程 内 容		
1	ガイダンス	日程説明、用具点検、スケッチの練習(1)		
2	スケッチ演習	スケッチの練習(2)		
3	色鉛筆による立体表現と居間の着色	色鉛筆の使い方と居間の着色方法		
4	パステルによる平面図着色	平面図の着色(パステル)		
5	居室の作図	居室パースの作成		
6	色鉛筆による居室の着色	同上着色(パステル)		
7	子供室リフォーム課題パース作図	子供室の作図		
8	子供室リフォーム課題パース着色	子供室の着色		
9	リビングダイニングの作図(グリッド法)	グリッド法		
10	リビングダイニングの着色	パステルによる着色		
11	ワンルームマンションの作図(1)	各種作図法によるワンルームマンションの作図(1)		
12	ワンルームマンションの作図(2)	各種作図法によるワンルームマンションの作図(2)		
13	ワンルームマンションの着色(1)	ワンルームマンションの着色(パステル)(1)		
14	ワンルームマンションの着色(2)	ワンルームマンションの着色(パステル)(2)		
15	カフェ外観パースの着色	パステルによる着色		
後 期（3 時 限）				
週	教 程	教 程 内 容		
1	Photoshop による「平面図」の着色	Photoshop の基本操作と平面図の着色		
2	Photoshop による「ダイニング」の着色(1)	Photoshop によるダイニングの着色(1)		
3	パース検定試験演習	パース検定 2 級試験演習		
4	Photoshop による「カフェ吹抜け」の着色(1)	Photoshop による店舗インテリアパースの着色(1)		
5	店舗インテリアパース作成(1)	Vectorworks による店舗インテリアパースの作図		
6	店舗インテリアパース作成(2)	店舗インテリアパースの転写、Photoshop による着色		
7	建築設計製図 進級課題インテリアパース作成(1)	Vectorworks によるカフェのインテリアパース作図(1)		
8	建築設計製図 進級課題インテリアパース作成(2)	Vectorworks によるカフェのインテリアパース作図(2)		
9	建築設計製図 進級課題インテリアパース作成(3)	カフェのインテリアパースの転写		
10	建築設計製図 進級課題インテリアパース作成(4)	Photoshop によるカフェのインテリアパース着色(1)		
11	建築設計製図 進級課題インテリアパース作成(5)	Photoshop によるカフェのインテリアパース着色(2)		
12	建築設計製図 進級課題インテリアパース作成(6)	Photoshop によるカフェのインテリアパース着色(3)		
13	RC 造貸事務所ビル外観パース作成(1)	VectorWorks によるビルの作図		
14	RC 造貸事務所ビル外観パース作成(2)	Photoshop によるビルの着色(1)		
15	RC 造貸事務所ビル外観パース作成(3)	Photoshop によるビルの着色(2)		

実習科目	実習	住居デザイン	1 学年	後期
目的・目標 (指標)	<p>目的：住居を構想しながら、小規模住宅の提案方法を学び設計できるようになる。</p> <p>後期目標：住居デザインの手法を学び小規模住宅が設計できるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	建設業を中心として、特に建築設計の見識が深く、住宅や公共施設まで幅広い設計施工の経験が豊富である。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	課題	小住宅の提案(1)	ガイダンス・住宅概論	
2		小住宅の提案(2)	エスキス(1) 平面図①	
3		小住宅の提案(3)	エスキス(2) 平面図②	
4		小住宅の提案(4)	エスキス(3) 平面図③	
5		小住宅の提案(5)	エスキス(4) 断面図①	
6		小住宅の提案(6)	エスキス(5) 立面図①	
7		小住宅の提案(7)	作図(1) 平面図	
8		小住宅の提案(8)	作図(2) 平面図・外構	
9		小住宅の提案(9)	作図(3) 立面図・断面図	
10		小住宅の提案(10)	模型作成(1)	
11		小住宅の提案(11)	模型作成(2)	
12		小住宅の提案(12)	模型作成(3)	
13		小住宅の提案(13)	インテリアパース作成(1)	
14		小住宅の提案(14)	インテリアパース作成(2)	
15		小住宅の提案(15)	プレゼンテーションボード作成・総評	

実習科目	実習	インテリアコーディネート	1 学年	後期
目的・目標 (指標)	目的：インテリアコーディネートの基本知識・技術を習得させる。 後期目標：分野ごとのケーススタディを繰り返し行う事で、他分野の応用力につなげる。また、基本的なインテリアスタイルを身に着けることにより、自己のオリジナリティベースを作る。プレゼンテーションボードを作成することによりレイアウトの方法が理解できるようになる。			
実務家教員の実務経験	建設業を中心として、特に建築設計の見識が深く、住宅の設計施工の経験が豊富である。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	概要、課題 1 インテリアスタイル(1)		自己紹介、日程説明、課題 1 説明、色彩演習	
2	インテリアスタイル(2)		クラシック、エレガント、スタイルシート作成	
3	インテリアスタイル(3)		モダン、応用モダン、スタイルシート作成	
4	インテリアスタイル(4)		シンプル、カジュアル、スタイルシート作成	
5	インテリアスタイル(5)		ナチュラル、応用ナチュラル、スタイルシート作成	
6	インテリアスタイル(6)		和風モダン、流行スタイル、スタイルシート作成、まとめ	
7	課題 2 (建築設計製図) エレメントリスト(1)		店舗エレメント、実例紹介、エレメントセレクト(外装)	
8	エレメントリスト(2)		エレメントセレクト(内装)、エレメントリスト作成	
9	課題 3 (SOHO) 読み込み、コンセプト		課題説明、コンセプト、人物設定	
10	エスキス		エスキス	
11	平面図作成		平面図作成	
12	パース		パース作図	
13	エレメント・色彩		エレメントリスト、カラーリスト、まとめ	
14	レイアウト		タイトル・コンセプト等のレイアウト	
15	提出		プレゼンテーションボードまとめ	

実習科目	実習	インテリアコーディネート	2 学年	前期
目的・目標（指標）	<p>目 的：インテリアコーディネートの知識・技術を習得させる。  前期目標：インテリアコーディネートを行う上で、必要な知識・技術をケーススタディすることにより習得し、後半はユニバーサルデザインを取り入れた住居をコーディネートできるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>建設業を中心として、特に建築設計の見識が深く、住宅の設計施工の経験が豊富である。</p>			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	概要・課題(1)インテリアスタイル	日程説明、クラシック、エレガント		
2	インテリアスタイル	モダン・応用モダン、スタイルシート作成		
3	インテリアスタイル	カジュアル・和風、スタイルシート作成		
4	課題(2)読み込み・コンセプト	UD とは、課題読み込み、人物設定・コンセプト		
5	実例報告	実例紹介、体験学習準備、グループ分担分け		
6	体験学習	体験学習(高齢者・車いす)、まとめ		
7	エスキス①	エスキス、注意事項、グループ内発表		
8	エスキス②	エスキス		
9	平面図作成	平面図作成		
10	パース	パース作図		
11	エレメント・色彩	エレメントリスト、カラスケール、まとめ		
12	レイアウト	タイトル、コンセプト、レイアウト		
13	ボード提出	まとめ、提出		
14	模型制作	模型制作		
15	模型制作・提出	模型制作、提出		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	ショップデザインI (飲食)	2 学年	前・後期
目的・目標 (指標)	<p>目的：ショップデザイン(飲食店)における基本設計から店舗空間における諸要素を考察し、演出的デザインを作り上げ、飲食店が計画できるようになる。</p> <p>前期目標：飲食店の概念を理解し商店街リニューアル計画を通じて改修計画ができるようになる。</p> <p>後期目標：外部団体のコンペティションへ参加し、実社会における提案能力を身につける。また、卒業制作の店舗を設計できるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>舞台設営・運営を主たる業務とし、ディスプレイ業界や店舗など幅広い業務の実績を有している。</p>			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	飲食店舗における厨房計画について		厨房計画・器具の説明	
2	フードコートへの新規店舗出店計画(1)		要項説明、コンセプトワーク、図面作成	
3	フードコートへの新規店舗出店計画(2)		図面作成、プレゼンテーションボード作成・提出	
4	地域密着型実践授業(1)		ガイダンス、グループ分け	
5	地域密着型実践授業(2)		物件決定、現地調査	
6	地域密着型実践授業(3)		現地調査、グループ内役割分担、データ整理、白図作成	
7	地域密着型実践授業(4)		コンセプト～方向性の確認	
8	地域密着型実践授業(5)		作図(1)	
9	地域密着型実践授業(6)		作図(2)	
10	地域密着型実践授業(7)		概算見積作成	
11	地域密着型実践授業(8)		プレゼンボード作成・最終調整、提出	
12	地域密着型実践授業(9)		データ作成、確認	
13	地域密着型実践授業(10)		発表準備	
14	地域密着型実践授業(11)		学内にてプレゼンテーション	
15	地域密着型実践授業(12)		各店舗にてプレゼンテーション	
後 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	コンペティション 概要説明		要項説明、エントリー、コンセプトワーク	
2	コンペティション 作品制作(1)		エスキス(1)	
3	コンペティション 作品制作(2)		プレゼンテーションボード作成(1)	
4	コンペティション 作品制作(3)		プレゼンテーションボード作成(2)	
5	コンペティション 作品制作(4)		作品提出	
6	卒業制作店舗設計(1)		ゾーニング計画(1)	
7	卒業制作店舗設計(2)		ゾーニング計画(2)、エスキス	
8	卒業制作店舗設計(3)		基本プラン 平面詳細図作成(1)	
9	卒業制作店舗設計(4)		平面詳細図作成(2)	
10	卒業制作店舗設計(5)		展開図作成	
11	卒業制作店舗設計(6)		天井伏図、器具リスト作成	
12	卒業制作店舗設計(7)		ファサードデザイン、サインデザイン作成(1)	
13	卒業制作店舗設計(8)		エレメントリスト作成	
14	卒業制作店舗設計(9)		各図面の着彩 パース作成(1)	
15	卒業制作店舗設計(10)		総合提出	



実習科目	実習	ショップデザインⅡ (物販)	2 学年	前・後期
目的・目標 (指標)	<p>目的：ショップデザイン(物販店)における基本設計から店舗空間における諸要素を考察し、演出的デザインを作り上げ、物販店が計画できるようになる。</p> <p>前期目標：物販店の概念を理解し商店街リニューアル計画を通じて改修計画ができるようになる。</p> <p>後期目標：外部団体のコンペティションへ参加し、実社会における提案能力を身につける。また卒業制作の店舗を設計できるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	内装業を中心として、特に内装設計の見識が深く、ディスプレイ業界における設計施工の経験が豊富である。			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	店舗設計について(1)		空間のとらえ方について	
2	店舗設計について(2)		什器計画について	
3	店舗設計について(3)		マテリアルについて	
4	地域密着型実践授業(1)		ガイダンス、グループ分け	
5	地域密着型実践授業(2)		物件決定、現地調査	
6	地域密着型実践授業(3)		現地調査、グループ内役割分担、データ整理、白図作成	
7	地域密着型実践授業(4)		コンセプト～方向性の確認	
8	地域密着型実践授業(5)		作図(1)	
9	地域密着型実践授業(6)		作図(2)	
10	地域密着型実践授業(7)		概算見積作成	
11	地域密着型実践授業(8)		プレゼンボード作成・最終調整、提出	
12	地域密着型実践授業(9)		データ作成、確認	
13	地域密着型実践授業(10)		発表準備	
14	地域密着型実践授業(11)		学内にてプレゼンテーション	
15	地域密着型実践授業(12)		各店舗にてプレゼンテーション	
後 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	コンペティション 概要説明		要項説明、エントリー、コンセプトワーク	
2	コンペティション 作品制作(1)		エスキス(1)	
3	コンペティション 作品制作(2)		プレゼンテーションボード作成(1)	
4	コンペティション 作品制作(3)		プレゼンテーションボード作成(2)	
5	コンペティション 作品制作(4)		作品提出	
6	卒業制作店舗設計(1)		ゾーニング計画(1)	
7	卒業制作店舗設計(2)		ゾーニング計画(2)、エスキス	
8	卒業制作店舗設計(3)		基本プラン 平面詳細図作成(1)	
9	卒業制作店舗設計(4)		平面詳細図作成(2)	
10	卒業制作店舗設計(5)		展開図作成	
11	卒業制作店舗設計(6)		天井伏図、器具リスト作成	
12	卒業制作店舗設計(7)		ファサードデザイン、サインデザイン作成(1)	
13	卒業制作店舗設計(8)		エレメントリスト作成	
14	卒業制作店舗設計(9)		各図面の着色 パース作成(1)	
15	卒業制作店舗設計(10)		総合提出	

実習科目	実習	インテリアデザイン	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目 的：インテリア空間の考え方を理解し、多くの要素からデザインにアプローチできるようになる。</p> <p>後期目標：卒業制作における平面図、展開図、インテリアパースを仕上げ、空間を構成するエレメントに対する意識を高めさせ、卒業制作の主要室を設計できるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		設計監理業を主たる業務とし、住宅から公共施設まで幅広い建築設計業務の実績を有している。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	卒業制作	準備課題(1)	ガイダンス・インテリア総論	
2		準備課題(2)	床・壁のデザイン	
3		準備課題(3)	天井・階段のデザイン	
4		準備課題(4)	平面詳細図(1)	
5		準備課題(5)	平面詳細図(2)	
6		課題作成(1)	展開図(1)	
7		課題作成(2)	展開図(2)	
8		課題作成(3)	天井伏図(1)	
9		課題作成(4)	天井伏図(2)	
10		課題作成(5)	インテリアパース(1)	
11		課題作成(6)	インテリアパース(2)	
12		課題作成(7)	インテリアパース(3)	
13		課題作成(8)	エレメントリスト(1)	
14		課題作成(9)	エレメントリスト(2)	
15		課題作成(10)	総合提出	

実習科目	実習	家具デザイン	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目 的：家具の全般的知識とデザインに関わる内容を理解する。</p> <p>後期目標：家具の設計演習を行う事により、家具のそれぞれ備えている機能、性能についての意義を習得させる。後半は卒業制作における家具を設計できるようになる。</p>		
実務家教員の実務経験		家具デザイン・製造・施工を主たる業務とし、住宅や店舗を中心に豊富な実績を有している。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	概要・椅子の計測	ガイダンス・コレクションルームにて椅子の計測作業		
2	椅子の作図(1)	三面図作成(1)図学の概念と手順について・描き方の説明		
3	椅子の作図(2)	三面図作成(2)		
4	簡易透視図法(1)	椅子パース作成(1)簡易透視図法の描き方・基本設定		
5	簡易透視図法(2)	椅子パース作成(2)作図・着彩		
6	卒業制作 課題作成(1)	課題説明・コンセプト作成		
7	課題作成(2)	形態構成(1)フォルムアイディア作成		
8	課題作成(3)	形態構成(2)フォルム・構造検証①		
9	課題作成(4)	形態構成(3)フォルム・構造検証②		
10	課題作成(5)	形態構成(5)素材・仕上げの検討		
11	課題作成(6)	図面作成(1)三面図・部材表の作成①		
12	課題作成(7)	図面作成(2)三面図・部材表の作成②		
13	課題作成(8)	パース作成(1)基本設定・作図・着彩		
14	課題作成(9)	コンセプト・カラスキム作成		
15	課題作成(10)	総合提出		

実習科目	実習	内装施工管理実習	1 学年	後期
目的・目標 (指標)		<p>目的：教室内において実習の出来ない「内装施工」の基礎技術を中心にした「体験学習」を行い、実務的な経験をする。</p> <p>後期目標：軽量鉄骨下地の実際の内装工事(壁・天井)を理解できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (60 時限)				
週	教程	教程内容		
1	内装工事实習(1)	割付図作成、墨出し、割付		
2	内装工事实習(2)	材料原寸カット、加工		
3	内装工事实習(3)	組立て、数量積算		
4	まとめ	まとめ		
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				